

一、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

※中学二年生の青波はバレエ部に所属し、三年生引退後はレギュラーになれるはずであった。しかし父の仕事の都合により、やむをえず転校した。引越後、家族「青波と、父、母、弟の泳斗」で遊びにきた海で、青波は転校先でもバレエ部へ入ることを母にすすめられるが……。

転校先の中学校のバレエ部の練習を、ちらりと見学したことはある。体育館は前の学校と同じ油とほこりの匂いがしたが、あたりまえだけどそこにいるのは知らない人ばかりだった。青波が練習を見ていたら、バレエ部員の一人が「何か用？」と近づいてきて、(A)無言で逃げてしまった。「私も入れて。」と無邪気に歩み寄った小学生の頃とは違う。

「でも部活に入れば仲良しの子ができるでしょ。友達作りのためにもバレエ部に入ったら？」

「だからもういいって。部活はしない。バレエなんかやったって、大人になっても何の役にも立たないし。」

「そんなことないよ。頑張ってきた時間はちゃんと力になってる。生きるための強さになって、いつか自分や、自分の大切な人を守ってくれる。」

「ないない。そんなわけない。現にお母さんにしても、シンクロやってた意味あんの？ お母さんなんて、何の取り柄もないじゃん。お菓子ばっか食べてるせいで体重増加も半端ないし。はっきり言ってその1はでなラツシユガードも恥ずかしいから。何でピンクとか選ぶかなあ。もっと黒とか紺とか地味なのにしとけばいいのに。お母さんがピンクなんて着たらブタだよ、ブタ。おばあちゃんの家にあるピンクのブタの貯金箱そっくり。」

「言いすぎだ、と思ったが止まらない。だって、このいらだちをぶつけられる相手は母しかいないから。」

「それ言われたらきつい。たしかにシンクロやってたときから比べると、十キロ近く体重増えたからなあ。あ、今はシンクロって言わないんだ。アーティスティックスイミングだ。」

へらっとわらいながら水平線に視線を移す母を、青波は横目で見ていた。母は九歳から大学四年生までの十三年間、シンクロナイズドスイミングをしていたらしい。現役の頃は百メートルもの距離を潜水したり、体におもりを付けて立ち泳ぎを続けたりハードな練習をしていたというが、今は見る影もない。普通のぼっちゃり太ったおばさんだ。

「ほらね。だからさあ、部活なんてやっても意味ないんだって。実際に……ちよっと、私の話、聞いてる？ ねえ、お母さんってばっ。えっ、どうしたの？」

目を細めて水平線を眺めていた母が、突然立ち上がった。青波の左側に小さな風がまき起こる。

「あそこ……人が溺れてる。青波、(B)ライフセーバーの人呼んできてっ。早くっ。」

母が早口でまくし立て、すなを蹴って海へと走り出した。

まっすぐ、ものすごい速さで海に入っていくその背中を、青波は全身を硬くしながら見つめていた。

「お母さんっ！」

(中略)

ライフセーバーが水をさくようなクロールで母の元に向かったちよどそのとき、波に漂うオレンジ色のブイが大きく揺れた。

「お母さんっ！」

母が水の上に顔を出している。間違いない、あれは私のお母さんだ。青波はその場に立ち尽くしたまま、母を見ていた。目を凝らせば母が両腕で人を抱え、立ち泳ぎをしているのが分かった。

「青波っ！」

「お姉ちゃん！」

いつのまにか、父と泳斗が青波の近くまで来ていた。二人とも不安げな顔を沖の方に向けている。

ライフセーバーはすでに母のところにとどり着いていた。母に抱かれていた人影が、ライフセーバーの手に渡る。

ライフセーバーが、溺れていた人の体にライフガードチューブをまき付けるのを、母が立ち泳ぎのまま手伝っている。

「お母さ——ん！」

互いの顔がはっきりと分かるくらい近づくと、青波は母に向かって大きく手を振った。母は青白い顔で立ち泳ぎをしながら、青波を見てわらってみせる。すでに連絡を入れていたのか、海岸にはライフセーバー以外にも警察やしよぼうの人たちが集まってきていた。

「お母さんっ、大丈夫？」

母が浅瀬にたどり着くと、青波は膝で水を蹴って駆け寄っていった。後ろから泳斗と父もついてくる。

「平気よ。でも風が…風が強くて流されるかと思った。青波、ライフセーバーを呼んでくれてありがとう。」

肩で息をしながら、母が手を伸ばし青波の髪をなでってくれる。水中にいたからか、手が氷のように冷たい。

「助かるといいんだけど…。」

きゆうじょされた男子が、担架に乗せられ運ばれていく。母は「氣道をかきほしながら運んできた。」と言うが、

男子の顔は紙のように真っ白だった。

「お母さん、もうこんな危ないことしないでよっ。」

本当はもっと別のことを言いたいののに、声がとがる。しんぱいでたまらなかつたから、その分声があらわしくなる。

「ごめんね、(C)むちゃはしない。」

本当は、よく頑張ったね、と言いたかった。自分より背の高い男子を抱えて海面にあらわれた母は、(D)人

魚のようだったから…。

優しくてタフな人魚。

力強く泳ぎ続けるピンクの人魚は、涙が出るほどかっこよかった。

(中略)

5 「お母さん、これ書いて。」

通学用のリュックに入れたままになっていた「入部届」と印刷されたプリントを、母に手渡す。入部先の「バレエ部」と「坂井青波」という氏名はすでに書いておいた。あとは保護者名を記入するだけだ。

「夏休み中も練習あるみたいだから、今日(E)行ってみる。十時開始だし、(F)出かけなきゃ。」

バレエボールを続けることに、何の意味があるかは分からない。でも今やりたいのなら、頑張るほうがだんぜんかっこいい。

そしていつか大人になったら、私は言うのだ。

□

(藤岡陽子「ピンクの人魚」 東京書籍「青いスピニ二〇二四 第四号」)

問一 a、jの部分の漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

問二 (A) (F)に入る最も適当なことを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

ア もう イ 早速 ウ 思わず エ きつと オ すぐに キ そろそろ

問三 A、B、Cの「らしい」「まで」「れる」と同じ意味で使われている文を次の中から一つ選んで、記号を書きなさい。

A アあなたらしい考えね。 イこの景色はすばらしい。 ウ昨日けんかがあつたらしい。 エ秋らしい季節となった。

B アあれこれ言うまでもない。 イ公園まで競走だ。 ウ子どもにまでわらわれる。 エ当たり前のことをしたまでだ。

C ア昔のことが思い出される。 イ今日のはやく帰れる。 ウ社長も出席をされる。 エ友だちに呼ばれる。

問四 1、青波はなぜ恥ずかしいと思ったのですか。

問五 2、なぜ意味がないと思っっているのですか。 解答欄にしたがつて、文中から十六字ぬき出して答えなさい。

問六 3、母が青波を見てわらつてみせたのはなぜだと考えられますか。

問七 4、母が具体的にどのようなことをしている姿を見て「優しくてタフな人魚」とたとえていますか。

問八 5、リュックに入部届が入つたままになっていたことから、青波のどのような思いが読み取れますか。

問九 □には、どのようなことばが入りますか。文中から五十四字ぬき出して、始めと終わりの五字を書きなさい。

二、次の文章をよく読んで問いに答えなさい。

いま世界には深刻な問題がいろいろとあります。

その一つ目は、環境問題です。世界の海はプラスチックごみで溢れ、いじょう気象による大規模な自然災害が、日本にかぎらず世界各地で頻繁に生じています。

もともと人間が生み出した様々なテクノロジーは、人間を自然の脅威から守るために必要不可欠なものでした。しかし、そのテクノロジーが高度に発展し、世界中でもちいられた結果、テクノロジーをもちいる人間が自然を破壊し

1 つつあるという逆転現象が起きています。

世界共通の深刻な問題の二つ目は、富裕層と貧困層の二極分化です。日本にかぎらず世界各国で、裕福な人はますます裕福になり、貧しい人はいよいよ貧しくなりつつあります。裕福な人々は「億」どころか「兆」の桁の資産を持っている一方、日々の糧に困っている人々も少なくありません。これはどう見ても不公平という他はないでしょう。

(中略)

これらの他にも世界にはグローバルな規模で問題が山積しています。

女性に対する性暴力、また黒人やアジア人に対する人種主義的な差別や暴力などもあります。

2 どれも一朝一夕には解決できない問題です。

これらの問題に、あなたはどのように考え、行動していますか。

ひょっとすると、こうした現状について黙って傍観しているだけではありませんか。「自分にどうにかしろと言われたって困る……」と、いつて何もしないでいるのかもしれないから、自分も特に何もしていない」という

3 (A)、「自分の周囲の人々もそんな問題に積極的に関わっていないから、自分も特に何もしていない」という方もおられるかもしれません。

このように現状を黙認する態度も、基本的には従順であることに変わりません。

自分を取りまく現実が問題をはらんでいることを理解していながら、その現実と妥協してしまっているからです。

(中略)

環境問題や人種差別問題などでは、あまりにもスケールが大きすぎるかもしれないので、もう少しスケールの小さい問題を例にとってみましょう。

二〇一七年四月九日のことです。

ベトナム系アメリカ人の医師デイビッド・ダオという男性が、シカゴ・オヘア国際^dこうでユニテッド航空の飛行機に搭乗していました。

この飛行機には、翌日のフライトのために航空会社の職員四人を乗せる必要が生じたため、乗客四人を別便に振り替えることになりました。航空会社は、飛行機を降りてもらおう乗客をアットランダムに決定し、その四人のうちの一人がデイビッド・ダオでした。

(B)、「ダオは翌朝に患者を診療しなければならなかったため、どうしてもその日のうちに帰宅する必要があるので、飛行機から降りることを承諾^しませんでした。

その結果、航空会社の職員は、警備員に依頼しダオを強制的に降ろすことにしました。

警備員はダオの頭を肘掛けに叩きつけたりしたため、ダオは頭蓋骨と鼻を骨折し、二本の歯が折れ、意識を失いました。こうしてダオは無意識のまま飛行機から引きずり降ろされたのです。

5 この顛末は、他の乗客がビデオに撮影しSNSで公開した結果、航空会社による乗客のひどい扱^{あつか}いが大問題となりました。

6 航空会社にどんな事情があったにせよ、料金を支払って搭乗している乗客を無理やり暴力的に引きずり降ろすというのは、どう考えても許されるべきことではありません。

(C)、「SNSをみて世界中の人々がユニテッド航空に対して怒りの声を上げたわけです。

しかし、そのビデオに映っていたのは、警備員に暴力を振るわれるダオの姿だけではありませんでした。

居合わせた数多くの乗客たちが、血まみれのダオが引きずり出されるのを黙って見届けていたことがそこにはきろく^eされていきました。

誰一人として警備員が暴力を振るうのを制止しようとはしなかったのです。

声を上げる人すらほとんどいなかったのが実情でした。

このような事件が目の前で起こっているのに、なぜ他の乗客たちは何もしなかったのでしょうか。

古代ローマの哲学者キケロは『義務論』という著作の中で、不正には二つの種類があると論じています。

ひとつは、積極的不正です。

これはある個人が人々になんらかの危害を加えることです。

もうひとつは、消極的不正です。

これは、ある個人が危害を加えられている際に、その人を守ったりすくったりすることができずにかかわらず、

そうしないことです。

不正が進行しているのを知りながら、その不正に対して反対の声を上げたり、責任を追及したりしないのであれば、その不正に自分も間接的にかたんとしていることを意味します。

- (D) 不正を目にしていながら、黙っていることはきょうはんなのです。
- (E) 黙っていることは同意していることとみなされるからです。

ダオのそばに座っていたユナイテッド航空の乗客たちは、このXを行った、と言えます。しかし、これほどひどい事件でなくとも、私たちの生活では、「見て見ぬ振りをする」ことは日常茶飯事です。一般に、できることなら面倒なことには関わりたくない、よけいなことはしたくない、と思うものです。

ですが、不正が行われていることを知りながら、これを見ずごすのは、自ら不正を行うのと大差がないのだとしたら、果たして「見て見ぬ振り」でいいのでしょうか？

一九世紀イギリスの思想家ジョン・スチュアート・ミルは、ある演説で述べています。

「Iが自分の企みを実現するためには、IIが傍観して何もしないこと以外、何も必要としない」

また、二〇世紀アメリカでアフリカ系アメリカ人公民権運動をリードした牧師にマーティン・ルーサー・キングという人がいます。「I Have a Dream」という台詞で有名なキング牧師の演説を聞いたことがあるでしょう。彼もこう述べています。

「この社会変動の時代における最大の悲劇とは、悪い人々の騒々しい叫び声ではなく、善い人たちのひどい沈黙なのです」

要するに、不正が行われていることを知っている「III」たちが黙認するだけで、不正は堂々とまかり通ることになってしまいます。そのかぎりでは、黙っている「IV」「V」たちに間接的に手を貸していることとなります。

(将基面貴己『従順さのどこがいけないのか』)

注1 アットランダム … 規則や意図がないさま。

注2 顛末 … 事の最初から最後まで事情。

注3 “I Have a Dream” … 「私には夢がある」という意味。

問一 a～hの部分を漢字に直さない(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

問二 (A)～(E)に入る最も適なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

アでは イしかし ウ つまり エ あるいは オ そのため カ なぜなら

問三 1、ここではどのような状態を「逆転現象」と言っていますか。解答欄にしたがって答えなさい。

問四 2、「一朝一夕」のように漢数字が二つ入る四字熟語を完成させなさい(同じ漢数字が入るとはかぎりません)。

- ① () 束 () 文 … 数が多くても値段が非常に安いこと。
- ② () 日 () 秋 … 待ち遠しくて時間が長く感じられること。
- ③ () 苦 () 苦 … とても苦勞すること。
- ④ () 転 () 倒 … もがき苦しむこと。
- ⑤ () 寒 () 温 … 寒暖がくり返される冬の気候。
- ⑥ () 発 () 中 … 予想やねらいがすべて当たること。

問五 3、「このように現状を黙認する態度」とはどのような態度ですか。できるだけ文中のことばを使って二つ挙げなさい。

問六 4、強制的に降ろされることになるほど、ダオがかたくなに飛行機を降りることを拒否したのはなぜですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問七 5、「この「ビデオ」には問題となる行動が二つ映っていると筆者は言っています。その行動をできるだけ文中のことばを使ってそれぞれ答えなさい。

問八 6、どのような事情が航空会社にはあったのですか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

問九 Xに入る最も適なことばを文中から五字ぬき出して答えなさい。

問十 I～Vには、それぞれア「善人」か、イ「悪人」が入ります。どちらが入るか記号で答えなさい。

